

外国語を用いて対話できる児童の育成

～関わり合いを通して

コミュニケーション力を育む授業の工夫（外国語・外国語活動）～



栃木県鹿沼市立

東小学校

廣瀬文彦

鹿沼市教育委員会

高橋奈穂子



1.前年度の成果と課題

(1)成果

①教師の意識の向上

学習指導案の検討会，校内研究授業，校内留学
→やり取りの効果を実感，より積極的に。

②類推しながら英語を聞く力の向上

児童にとって身近で，話し合う必然性のある題材を設定する
→わからない英語を聞いても類推しながら聞くことができるように。

③慣れ親しんだ語句や表現を使って，思いを伝えようとする意欲の向上

④児童の発話量の増加

授業改善→児童との英語でのやり取り，リキャストが増える。
→児童の英語発話量が増加。

(2) 課題

① 理解に時間がかかる児童を含めた全ての児童が慣れ親しむための指導の在り方

- ・ (児童アンケート) 「英語の授業が好き」, 「自分の考えや気持ちを先生や友達に伝えようとしている」が下がる。

⇒ やり取りを実践する中で, 全ての児童が理解し, 慣れ親しむための指導が不足していたのではないか。

⇒ やり取りの中に, 全ての児童が慣れ親しむための練習等を取り入れるなど, 指導の在り方の検証, 実践する。

② 教師の英語によるコミュニケーション力と児童の気付きを生むようなりキャストをする力の向上

③ やり取りを生かした活動の工夫と年間指導計画, 評価計画への位置付け

2.本年度の研究の重点等

(1)授業全体を通して学んだことを実際に使う言語活動の設定(継続)

～関わり合いを重視した外国語・外国語活動の授業の在り方～

(2)理解に時間がかかる児童を含めた全ての児童が慣れ親しむための指導の在り方(重点)

3. 研究内容

(1) 授業全体を通して学んだことを実際に使う言語活動の設定(継続)
～関わり合いを重視した外国語・外国語活動の授業の在り方

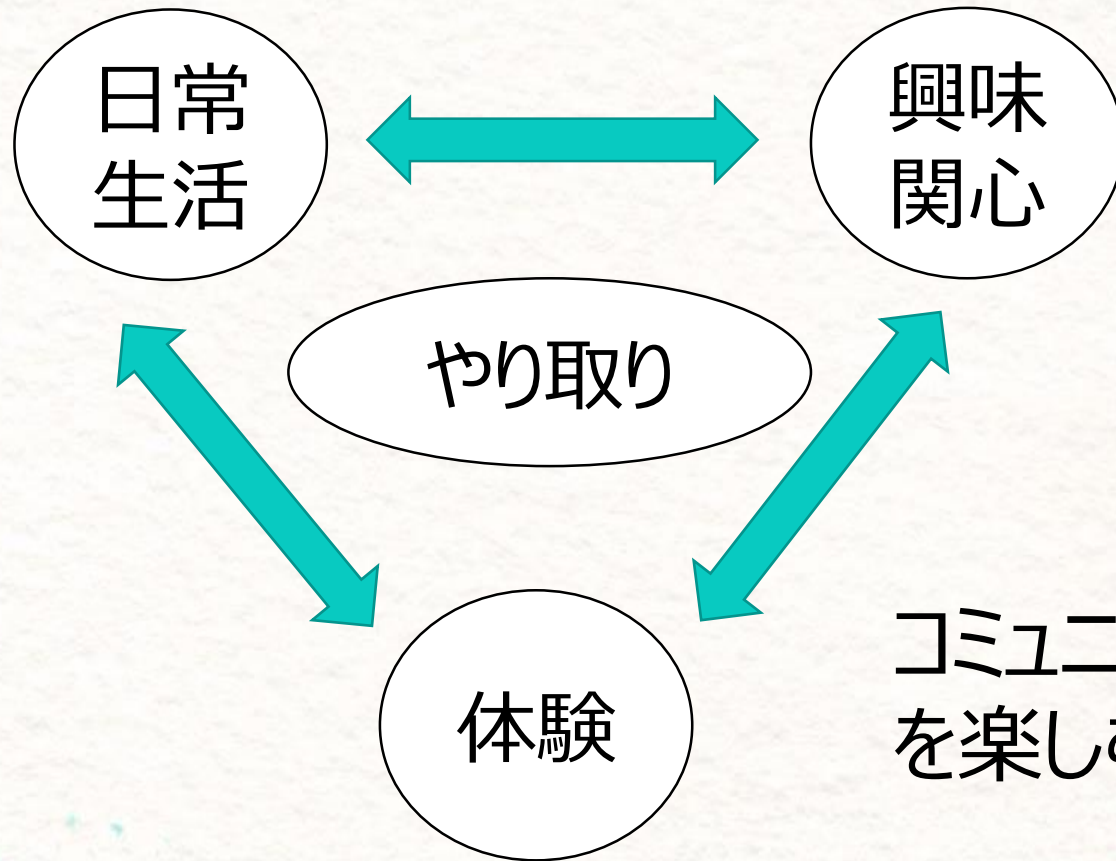
- ① 児童にとって身近な題材，必然性のある場面設定，児童を引き付ける本物の教材の工夫
- ② 目的や場面，状況，相手に応じたやり取り(インタラクション)の展開の工夫

(2)理解に時間がかかる児童を含めた全ての
児童が慣れ親しむための指導の在り方
(重点)

- ①言語活動を通した、児童にとって必要感のある、主体的な“練習”の工夫
- ②特別支援教育の視点から適切な教材，指導方法，指示内容，指導形態の工夫

4. 具体的な研究活動

① 児童にとって身近な題材，必然性のある場面設定，児童を引き付ける本物の教材の工夫



- 反応
- 質問
- 相互理解

コミュニケーション
を楽しむ児童の姿



令和2年度研究を推進するにあたっての **大きな壁**

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための学校臨時休業
5月25日より学校再開

新しい生活様式による学校生活の再開

学校の教育活動が様々な場面で制限される中、外国語活動、
外国語の授業はどうしたらいいだろうか？

本校の研究の軸は、「やり取り」を通して、コミュニケーション力を
育成することだが・・・

このような状況の中、「**やり取り**」をさせることは可能なのか？

◆再開してすぐの6月, 7月◆

やり取りを控えて、授業を実施

【教員・児童の反応】

- ・聞いているだけ、一人だけで言っている、なんかつまらない。
- ・児童にやり取りをさせないと、どんどん進んでしまうが、本当に分かっているだろうか？

◆2学期開始◆

感染症拡大防止対策をして、やり取りの再開

- ・生き生きとした児童、教員の様子が見られる。

対面授業の必要性

外国語活動・外国語科における児童の資質・能力向上のためには、言語活動を通して学習していくことの必要性を再確認。

**やっぱり、「やり取り」って、
外国語学習の中核なんだ！**

(1)児童にとって身近な題材、必然性のある場面
設定、児童を引き付ける本物の教材の工夫

①年間指導計画への位置付け

児童が興味・関心のある

- 日常生活
- 学校行事
- 他教科等との関連

コミュニケーションを行う目的や場面，状況などを大切にし、
「誰に」という相手意識を持たせて，言語活動を実施。



児童が「聞きたい」「話したい」という
ワクワク感をもって，主体的に考え，
チャレンジさせ，表現力の向上につなげる。

(1)児童にとって身近な題材、必然性のある場面
設定、児童を引き付ける本物の教材の工夫

②複数学級の利点を生かした教材の工夫

授業内容の検討→授業(1クラス目)→授業研究
→授業(2クラス目)→授業研究→・・・
・・・→研究授業(年間6回)





授業をお互いに参観するたびに、
気付きが増えて、自分が授業をする
ときに生かすことができました。

指示の出し方や支援の仕方など、
他教科等にもつながる授業の大切なこと
がたくさんあって、お互いに共通実践
できたことがよかったです。



「自分もこの授業をする」という気持ち
で、授業を見合ったり、話し合いに参加
したり、自分事として取り組みました。

全学級担任がトライアルレッスンを行う。
→→→自分ごととして研究授業に関わる
→→→悩み、疑問、不安を共有することで
課題解決に同じ気持ちで向かうことができる。

授業改善をチームで取り組む
= 全教員が一步前に進む。

1人の100歩より
100人の1歩

(1) 児童にとって身近な題材，必然性のある場面設定，児童を引き付ける本物の教材の工夫

実践例（抜粋）

1年 ○天気 ・1週間後の遠足・運動会等の天気を知ろう。

2年 ○動物 ・ALTに遠足で行った動物園にいた動物を教えよう。

3年 UNIT 4 I like blue.

・友達のことをよく知って，もっと仲良くなろう。

4年 UNIT 8 This is my favorite place.

・秋祭りに来た外国人観光客に道案内をしたり，鹿沼市のお勧めの場所を伝えたりしよう。

5年 UNIT 7 Welcome to Japan.

・ALTの家族に栃木県や鹿沼市の見所を紹介しよう。

Check Your Steps3

・栃木県や鹿沼市にある素敵なものを紹介しよう。

6年 UNIT 6 Let's think about our food.

・日本の学校給食と郷土の食材のすばらしさを外国の友達に伝えよう。

UNIT 8 My Future, My Dream

・将来の夢について授業参観で発表しよう。

(1) 児童にとって身近な題材，必然性のある場面
設定，児童を引き付ける本物の教材の工夫
(実践例)

3年生・・・「みんなの力を合わせて3年3組の
クリスマスツリーを作ろう！」

形や色の表現を使ってクリスマスツリーの飾りつけをする。



令和2年11月13日（金）神長 正暉教諭 JTE金彩香
Le t 'sTry! 1 Unit 7 This is for you.



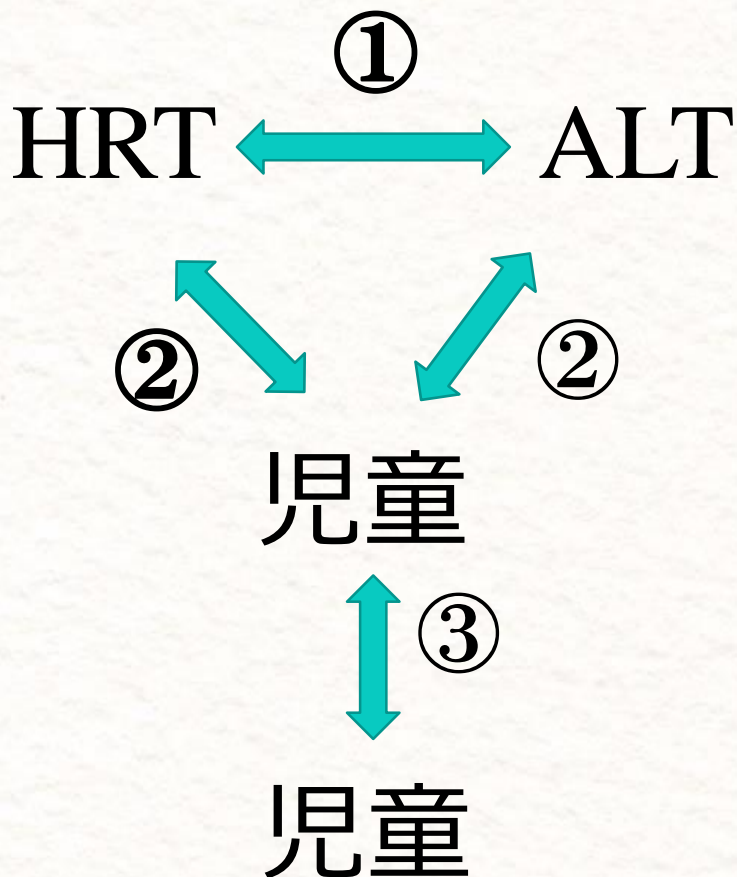
4. 具体的な研究活動

(1) ② 目的や場面, 状況に応じたやり取りの展開

やり取りについて

- 意味のあるやり取り …… 目的や場面, 状況などを明確に
(日本語でも自然な会話)
- 児童のつぶやきを拾う
- 児童から引き出す (elicit)
 - 教師は待つことが大切
- 十分なinput
- “嘘は言わせない” “いつでも本物”

やり取りについて



•意味のあるやり取り

…目的や場面、状況などを明確に
(日本語でも自然な会話)

•児童のつぶやきを拾う

•児童から引き出す (elicit)

…教師は待つことが大切

•十分なinput

•“嘘は言わせない” “いつでも本物”



やり取りを通して、初めて出会う語彙や表現の意味を想起させながら、友達の考えを聞いたり自分の思いを伝えたりすることで、自然な形で外国語(英語)に慣れ親しませる。

やり取りについて

We can! 1 Unit 6

“I want to go to Italy.”

1時間目-国の名前

2時間目-食べたいものの言い方

3時間目-見たいものの言い方

:

教師は単元を通して、英語を
文で聞かせ、児童に気付きと理解を
促し、発話につなげる。

I want to go to America.

I want to eat a big hamburger.

I want to see the Statue of Liberty.

『うるしぬり』のように、
初めから文を何度も何
度も聞いたり、言っ
たりする。



単元を通して
試行錯誤する
ことで、児童
の発話が単語
から文へ

授業の「やり取り」を生かす評価の工夫

①鹿沼市版振り返りパスポート

鹿 沼 市
五 年 生
旅 券

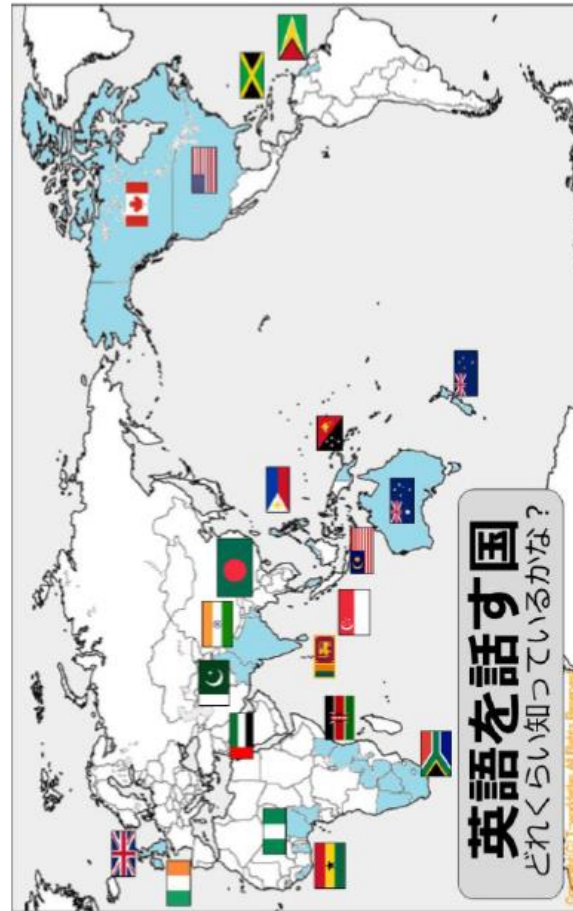


Kanuma City
Grade 5
Passport



Class:

Name:



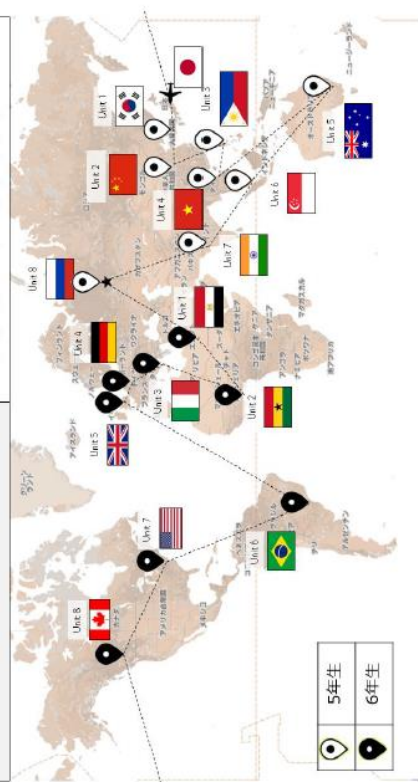
英語を話す国
どれくらい知っているかな?

授業の「やり取り」を生かす評価の工夫

① 鹿沼市版振り返りパスポート

世界一周の旅！

各Unitではんこをもらったら、好きな色のペンでなぞろう！！



Unit 1			
Goal: 名前や好きなもの・ことを伝えよう			
Lesson	Date	Comment (何ができるようになりましたか?)	Check
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
Overall			



Unit 2			
Goal: 誕生日やほしいものを伝えよう			
Lesson	Date	Comment (何ができるようになりましたか?)	Check
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
Overall			



単元の最後に、「入国審査」として、児童一人ずつ、ALTまたは学級担任と本単元で使った表現を使ってやり取りを行う。

⇒⇒児童が自分自身の現在地点を認識し、意欲向上につながり、単元が進むごとに話す力の向上が見られる

②鹿沼市版スピーキングテスト

Grade 6 – Term 1 Interaction Test Evaluation Sample Answers – COUNTRIES OF THE WORLD				
Unit	Situation. <i>Presentation Material</i> Questions	Knowledge and Skill A – Content (who, what, where, when, why, etc.) of the speaking is accurate, in English using the words, phrases, and expressions studied. B – Content of the speaking is partially accurate or partially in English using the words, phrases, and expressions studied. C – Content of speaking is not accurate, not in English, or there is no response.	Thinking and Expressive Ability A – Shows understanding of the situation and makes effort to expand the interaction (such as asking a question, adding a comment, or giving extra detail). B – Shows understanding of the situation, but does not make effort to expand the interaction. C – Does not show understanding of the situation.	Attitude Toward Study A – Demonstrates attitude to positively communicate to a great extent, for example, showing <u>three or more</u> of the points below: □ eye contact □ smile □ good posture □ gestures □ appropriate volume □ clear voice □ exceptional pronunciation B – Demonstrates attitude to positively communicate to a lesser extent, for example, showing <u>two or fewer</u> of the points above. C – Does not demonstrate an attitude to positively communicate, for example, shows <u>none</u> of the point above.
1	Let's talk about you. <i>Profile Card</i> Q1: What's your name?	A 1: [My name is <u>SHOMA</u> .] or [I'm <u>SHOMA</u> .] 2: [My birthday is <u>May 5/ 5th</u>] or [It's <u>May 5/ 5th</u> .] or [May 5/ 5th], etc. 3: [I like (<u>soccer/ pizza/ cat[s]/ blue/ etc.</u>)]	A [When is your birthday? / What do you like? / Do you like <u>soccer</u> ? / How about you? / And you? / -Oh, you like <u>soccer</u> , too! / -Great! / -Nice! / Really?], etc.	<input type="checkbox"/> eye contact <input type="checkbox"/> smile <input type="checkbox"/> good posture <input type="checkbox"/> gestures <input type="checkbox"/> appropriate volume <input type="checkbox"/> clear voice <input type="checkbox"/> exceptional pronunciation B – Demonstrates attitude to positively communicate to a lesser extent, for example, showing <u>two or fewer</u> of the points above. C – Does not demonstrate an attitude to positively communicate, for example, shows <u>none</u> of the point above.
	Q2: When is your birthday?	B 1: [<u>SHOMA</u>] or [<u>FUKUDA</u>] 2: [May / 5/5 / 5/5th], etc.	B	
	Q3: What do you like?	A 1: [My treasure is <u>my cat</u> .] [It's <u>my cat</u> .], etc.	A 1: [His name is <u>Charles</u> .], [He is black.], [What is your treasure?], [], etc.	
2	Let's talk about your treasure. <i>Treasure Introduction Card</i> Q1: What is your treasure?	B 1: [<u>My cat</u> .] [<u>No</u> .]	B	<input type="checkbox"/> eye contact <input type="checkbox"/> smile <input type="checkbox"/> good posture <input type="checkbox"/> gestures <input type="checkbox"/> appropriate volume <input type="checkbox"/> clear voice <input type="checkbox"/> exceptional pronunciation B – Demonstrates attitude to positively communicate to a lesser extent, for example, showing <u>two or fewer</u> of the points above. C – Does not demonstrate an attitude to positively communicate, for example, shows <u>none</u> of the point above.
	Where do you want to travel? <i>Travel Information Card</i> Q1: Where do you want to go?	A 1: [I want to go to <u>Italy</u> .], [I like <u>Italy</u> .], [Let's go to <u>Italy</u> .], [I don't want to go anywhere.], or [Japan only.], etc.	A 1: [I want to eat <u>pizza</u> .], [I want to see the <u>Colosseum</u> .], [Where do you want to go?], [What country do you like?], etc.	
3	Where do you want to travel? <i>Travel Information Card</i> Q1: Where do you want to go?	B 1: [<u>Italy</u> .], [<u>Go Italy</u> .], etc.	B 1: [I don't want to go anywhere.], or [Japan only.], etc.	<input type="checkbox"/> eye contact <input type="checkbox"/> smile <input type="checkbox"/> good posture <input type="checkbox"/> gestures <input type="checkbox"/> appropriate volume <input type="checkbox"/> clear voice <input type="checkbox"/> exceptional pronunciation B – Demonstrates attitude to positively communicate to a lesser extent, for example, showing <u>two or fewer</u> of the points above. C – Does not demonstrate an attitude to positively communicate, for example, shows <u>none</u> of the point above.
	Where do you want to travel? <i>Travel Information Card</i> Q1: Where do you want to go?	A 1: [I want to go to <u>Italy</u> .], [I like <u>Italy</u> .], [Let's go to <u>Italy</u> .], [I don't want to go anywhere.], or [Japan only.], etc.	A 1: [I want to eat <u>pizza</u> .], [I want to see the <u>Colosseum</u> .], [Where do you want to go?], [What country do you like?], etc.	

学期に1回、児童一人ずつALTとこれまでに学習した語句や表現を使って、やり取りを行う。

(1) 児童にとって身近な題材，必然性のある場面
設定，児童を引き付ける本物の教材の工夫
(実践例)

6年生・・・「日本の学校給食と郷土の食材の素晴らしさをアメリカの小学生に伝えよう。」

学校給食と郷土の食材のすばらしさをアメリカの小学生や先生に伝える。



行ってき
る子
まじい子

い子
遊ぶ

知っている英語
ジェスチャーを付
コミュニケーション
楽しもう!

blackboard

月 November 日 13
曜日 Friday

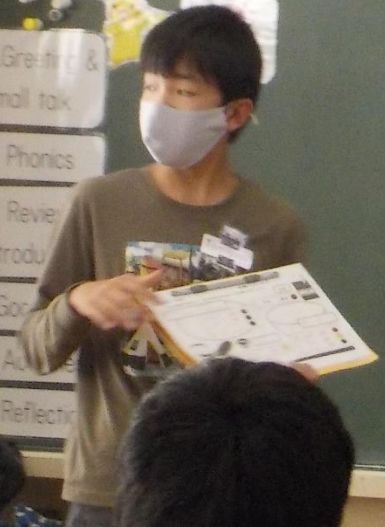
How's the weather?

① 理想の給食の栄養バランスについて伝え合おう。

1. Greeting & Small talk
2. Phonics
3. Review & Introduction
4. Group work
5. Assessment
6. Reflection

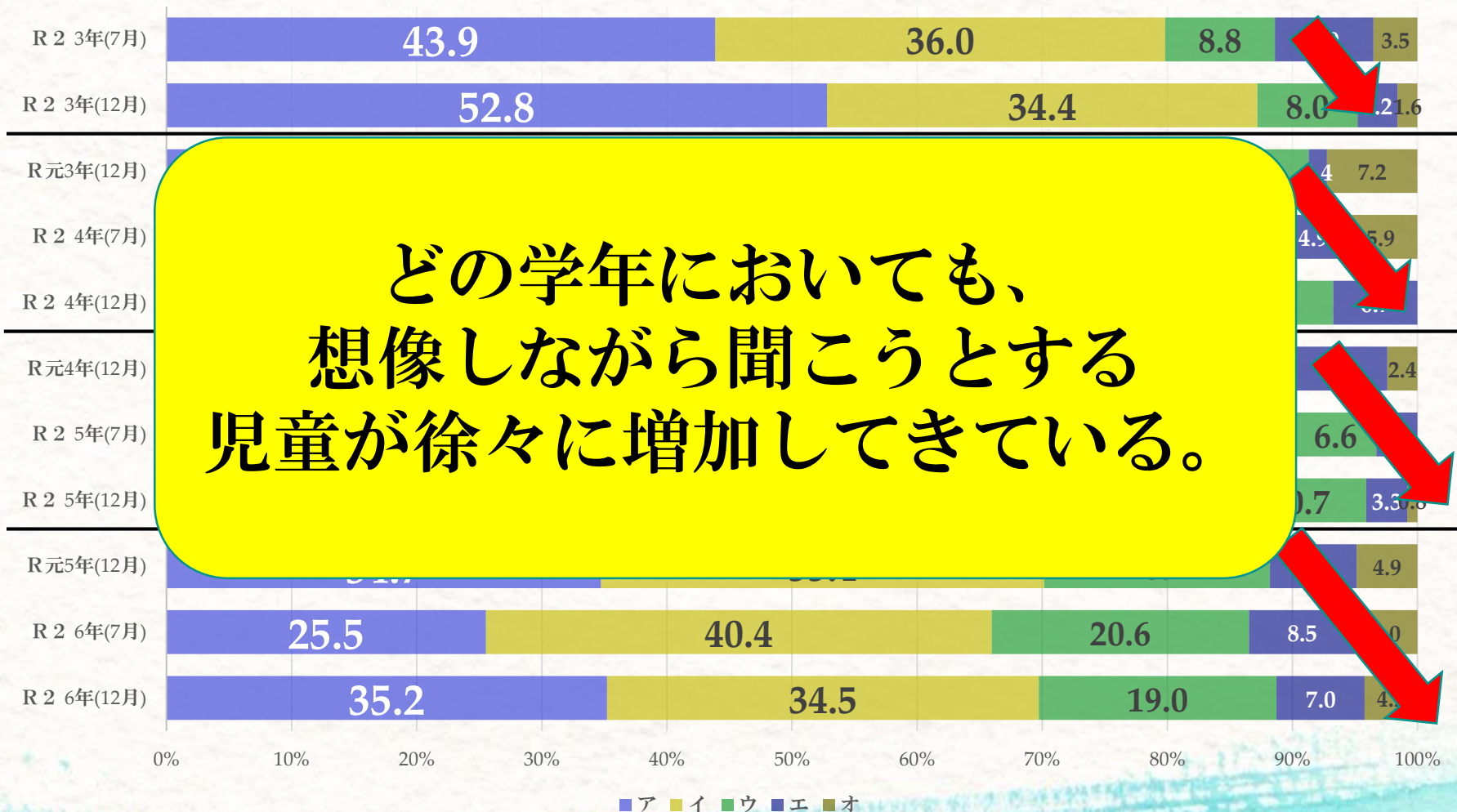
rice
chicken
tomato

chalk



(3) 担任の先生やALT, JTEの話している英語がよくわからないとき、「こんなことを言っているのかな?」と想像しながら聞こうとしていますか。(3年生以上)

ア いつもしている イ だいたいしている ウ ときどきしている
 エ あまりしていない オ ほとんどしていない



どの学年においても、
 想像しながら聞こうとする
 児童が徐々に増加してきている。

4.具体的な研究活動

(2)理解に時間がかかる児童を含めた全ての児童が慣れ親しむための指導の在り方
(重点)

①言語活動を通じた、児童にとって必要感のある、主体的な“練習”の工夫

②特別支援教育の視点から適切な教材、指導方法、指示内容、指導形態の工夫

○昨年度の課題より

やり取り中心の授業展開

⇒一部の児童の意欲が低下



**児童が主体的に取り組む，意味のある
練習を取り入れる工夫が必要**

× 単なる教師の後についてのリピート

◎ 児童にとって必然性のあるもの

自分の気持ちにうそをつくことのないもの

「やり取り」と「意味のある、主体的な練習」を取り入れた活動のイメージ

児童同士のやり取りにチャレンジ

やり取り

② 中間振り返り

Can you do it?
Let's share!

うまくできているところ、つまずきの共有

③ 必要感を感じさせて練習

Do you want to practice?

もう一度、
児童同士のやり取りにチャレンジ

やり取り

(1) 児童にとって身近な題材，必然性のある場面
設定，児童を引き付ける本物の教材の工夫
(実践例)

4年生・・・「マーニーにお気に入りの場所を伝えよう」
イギリスに住むALTの姪からのビデオレターを見て、
学校のお気に入りの場所を伝えるビデオレターを作成
する。



Hello, Marni.
This is the music room.
This is my favorite place.

(2) 先生方のお気に入りの場所を言ってみる。

5 ◎黒板の先生方のお気に入りの写真を見ながら、英語で言ってみる。
・「言うのが難しい教室はあるか。」児童に問いかけ、難しいから練習するという意味をもたせるようにする。

T: This is the science room. 練習してみよう。
S: This is the science room.
T: Do you like the science room?
S: Yes, I do.
T: 手を挙げた人だけでいいから言ってみよう。
This is my favorite place.
S: This is my favorite place.

中間振り返り

(3) 自分のお気に入りの場所を言ってみる。

◎言うのが難しい児童は、自分のお気に入りの場所を見せるだけでもよいことを伝える。

ド (児童用)

やり取り

練習

・隣の人とペアで行う。

2 ・一度全体で振り返り、難しい表現や練習したい表現はないか確認する。

・お気に入りの場所が同じ人のグループで練習する。

7 ◎お気に入りの場所が同じ人の座席で座るようにし、机の向きを変えるだけでよいようにする。また、孤立感がないように東前にグループングしておく。

・隣の人とペアで行う。

◎グループ全員が言えるようにすることをルールとする。
2 ・もう一度ペアで行うことで、1回目との変容が分かるよ

やり取り

自分の成長と現在地点を認識させる。



しゃべらずに
ならぶ

三カ条
しっかり聞こう
思いやりの心を持とう
自分たちで判断しよう

まごころ
の考え
終わり

中

初め

筆者の考え

説明

筆者の考え

筆者の考え

筆者の考え

筆者の考え

筆者の考え

筆者の考え

筆者の考え

筆者の考え

筆者の考え

筆者の考え

筆者の考え

筆者の考え

筆者の考え

筆者の考え

筆者の考え

筆者の考え

筆者の考え

4.具体的な研究活動

(2)理解に時間がかかる児童を含めた全ての児童が慣れ親しむための指導の在り方
(重点)

①言語活動を通じた、児童にとって必要感のある、主体的な“練習”の工夫

②特別支援教育の視点から適切な教材、指導方法、指示内容、指導形態の工夫

昨年度の研究結果より課題となったのは・・・

・（児童アンケート）「英語の授業が好き」、「自分の考えや気持ちを先生や友達に伝えようとしている」が下がる。

【考察】やり取りを実践する中で、全ての児童が理解し、慣れ親しむための指導が不足していたのではないか。



特別支援教育の視点からの指導の工夫

- ① 学習指導案への位置付け(具体的に)
- ② 「言語活動につながる練習」等、実際の場面での臨機応変な支援

①学習指導案への位置付け

7. 本時の指導

(1) 題材名 クリスマスツリーの飾りつけをしよう

(2) 目標 色や形、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を知り、伝えようとする

(3) 展開 ②やり取り (インタラクション) ③特別支援教育の視点◇評価 (方法)

学習活動	時間	教師の支援・留意点
<p>1. Greeting</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする。 ・自分の様子や気持ちを伝える。 ・日常会話を聞いたり、答えたりし、やり取りをする。 ・Hello song2 を歌う。 	3	<p>②児童のつぶやきを取り上げ、意味のあるやり取りになるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Hello class. How are you? I'm fine. I'm sleepy. 等</p> </div>
<p>2. Phonics (v)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音の復習をし、お話を聞き、新出単語の字形やアクション、発声を確認する。音を聞き取り、音を組み合わせる単語の確認をする。 	8	<p><u>特</u>表示カードや大型 TV を用意し、視覚的支援をする。</p> <p><u>特</u>学習過程を明示し、見通しをもち、状況確認ができるよう視覚的支援をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の音を黒板に貼り、外しながら確認する。 ・JTE の正しい音をたくさん聞けるよう促す。 ・動作をしながら発音させるようにする。 ・音の復習、発音…JTE, お話 (音の復習) …HRT
<p>3. Small talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRT と JTE のやり取りを聞く。 ・HRT と JTE の問いかけに答えたり自分の思いを発したり、友達の思いを聞いたりする。 	5	<p>②お楽しみ会を開催する12月から連想するものやクリスマスツリーの会話をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>HRT: What event? Ss: Christmas ! Present. / Cake. /Santa Claus. JTE: What cake do you like? HRT :I like Mont Blanc cake. Do you like Mont Blanc cake? JTE: Yes, I do./ No, I don't. How about you? Ss: Sponge cake. / Chocolate cake. / Cheese cake./ JTE: You like sponge cake. 等</p> </div>

② 「言語活動につながる練習」等，実際の場面での臨機応変な支援

・グループ毎に飾りつけをしたものを一つに貼り合わせて出来上がったツリーを確認する。

④ 欲しい色や形を選ぶのに悩んでいる児童にカードを用意して、支援する。(T3)

・ツリーに飾る形をグループ毎に用意する。

◎HRT と JTE は二手に分かれて席を巡りながら、つまずきのある児童に対して、欲しい形を尋ねたり、答えたりしているか確認し、声をかけたりする。

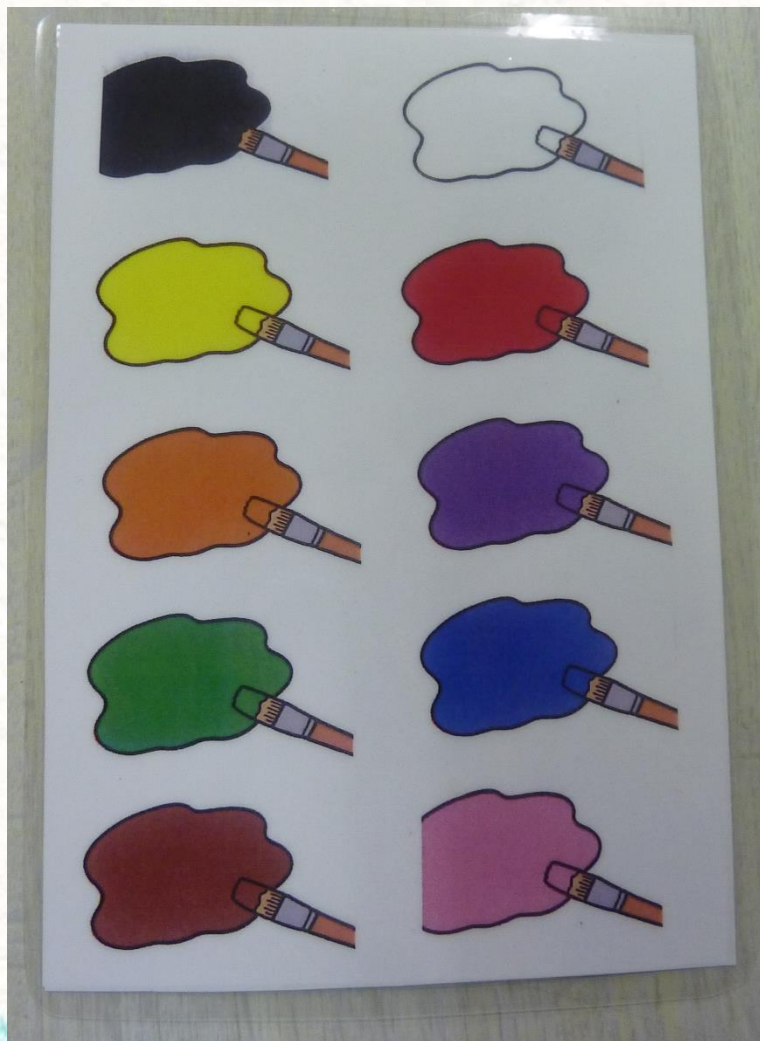
④ 活動が滞っている場合は、日本語で児童に促し、日本語で答えても可能とし、英語での言い方を教える。

★特別支援学級担当の教員と連携し、特別支援教育の視点から、児童のつまずきを予測し、学習指導案に臨機応変に対応することについても位置付ける。

★支援に必要な教材の作成と教材の累積

★ 支援に必要な教材の作成と教材の累積

【教材例】





特別支援学級担当との連携（授業での支援）

児童の変容について

【先生方の声より】

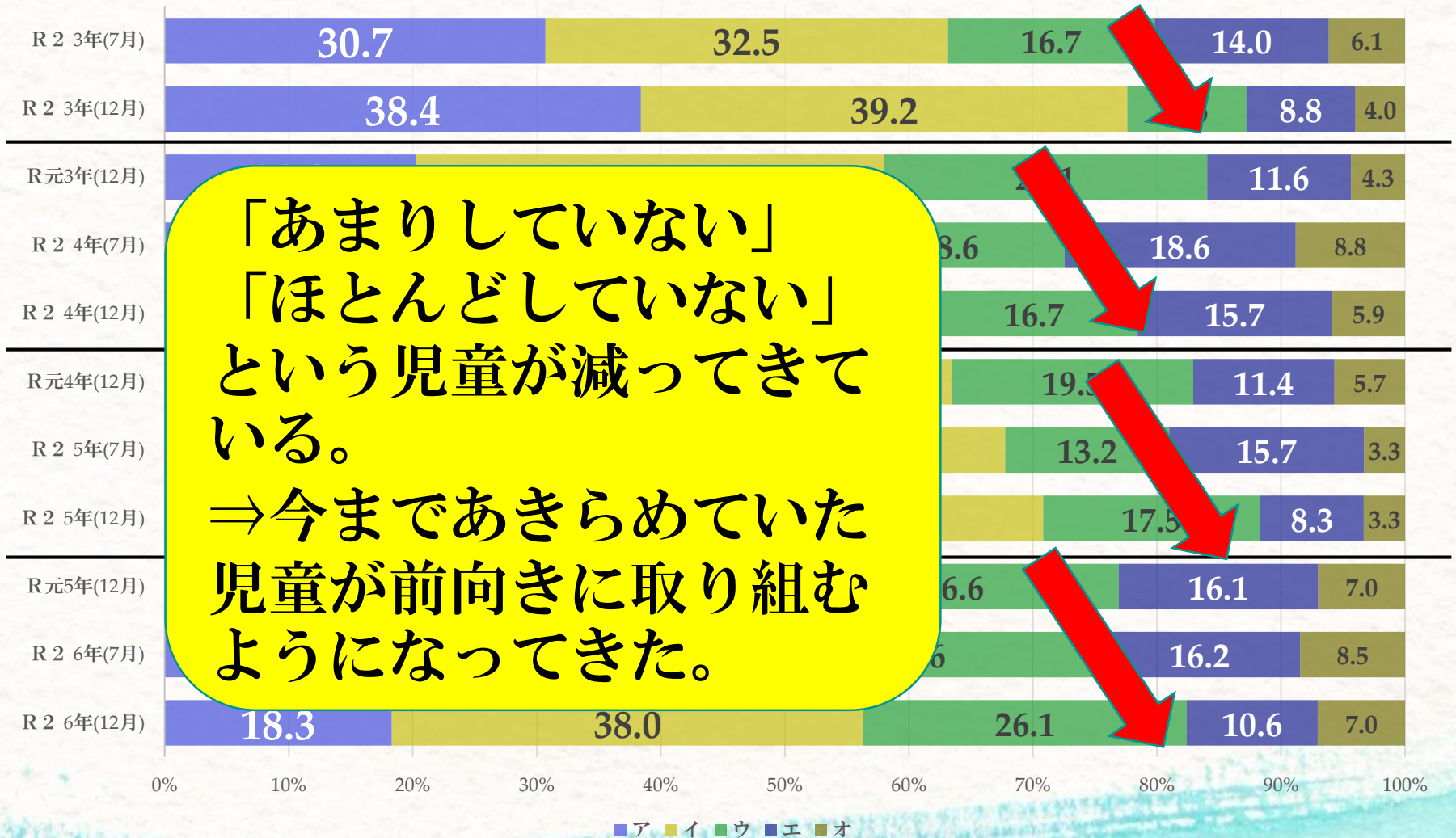
今まで、自信がないのか、声をかけないと取り組めなかった子たちが、声をかけなくても、まずやってみたり、わからない時には自分から聞いてみたりして、自分から取り組むようになってきました。

授業からはずれることなく、45分の授業に集中できるようになってきて、ほめることが増えてきました。

支援をしてもらえるという安心感からか、大きな声で頑張るようになってきました。あたりまえですけど、どの子も「できるようになりたい」「わかるようになりたい」って思ってるんですね。

(4) 学習した英語を使って、自分の気持ちや考えを先生や友達に伝えようとして
いますか。(3年生以上)

ア いつもしている イ だいたいしている ウ ときどきしている
エ あまりしていない オ ほとんどしていない



「あまりしていない」
「ほとんどしていない」
という児童が減ってきて
いる。
⇒今まであきらめていた
児童が前向きに取り組む
ようになってきた。

5.研究の成果と課題

(1) 成果

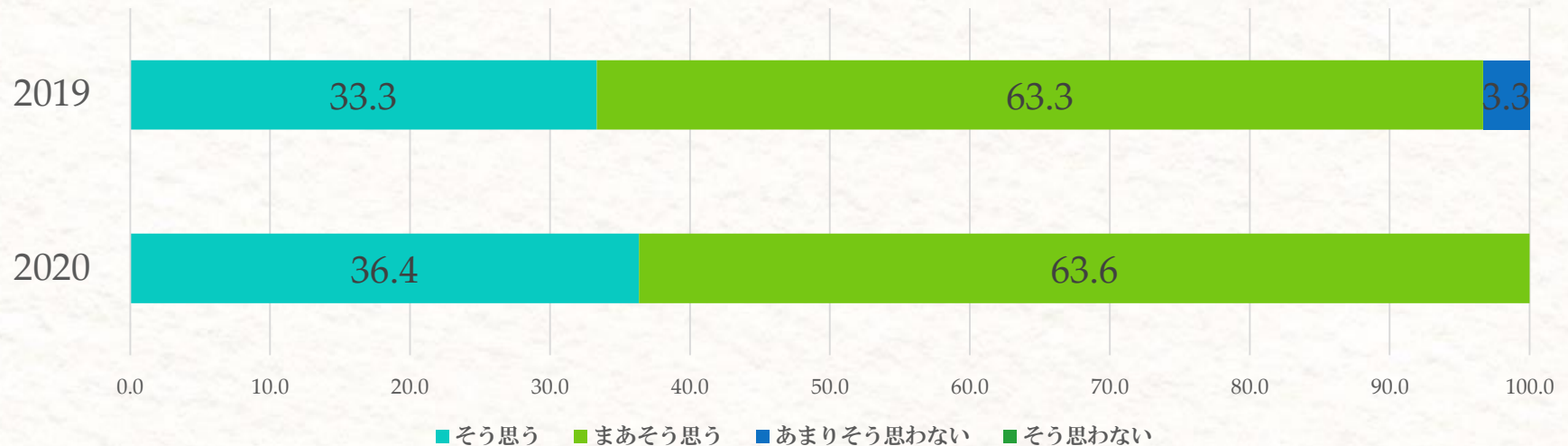
①教員の授業に対する前向きに取り組む意識の向上と積極的にやり取りに取り組むようになった。

【教員アンケート結果より】

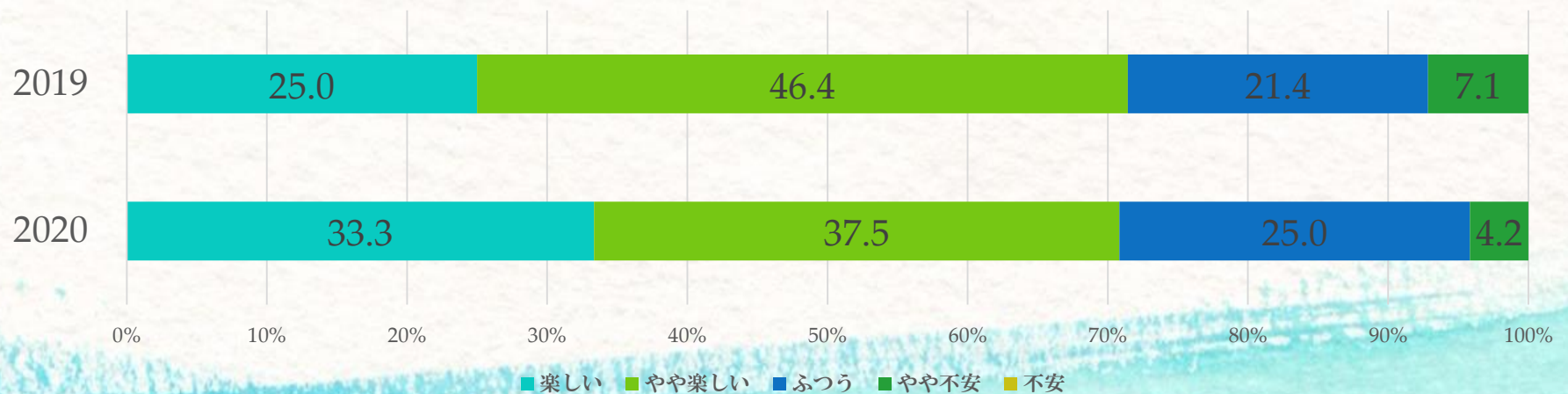
ア 前向きに取り組んでいる。



イ 授業で積極的にやり取りをしようとした。



ウ (以前と比べて) 外国語の授業が (楽しい・やや楽しい・普通・やや不安・不安)



②理解に時間がかかる児童を含めた全ての児童が慣れ親しむための支援方法、指導方法を全校体制で取り組むことで、児童が前向きに取り組み、聞くこと、話すことにおける力の向上が見られた。
(鹿沼市版リスニングテスト、スピーキングテスト結果より)

③やり取りを生かした活動内容及び工夫を各教員が学習指導案に記録し、年間指導計画に位置付けた。

(2) 課題

- ① 児童が「聞くこと」「話すこと」については、やり取りを通じた授業を行うことで意識の向上が図られ、前向きに取り組むようになったが、学年が上がるにつれて、外国語活動・外国語の授業を「楽しい」「好き」という児童の割合が低くなっている
- ② 特別支援教育の視点からの支援は、個々の児童、場面、その日の学級状態によって、大きく変わる。想定してた支援がうまくいかない時があった。

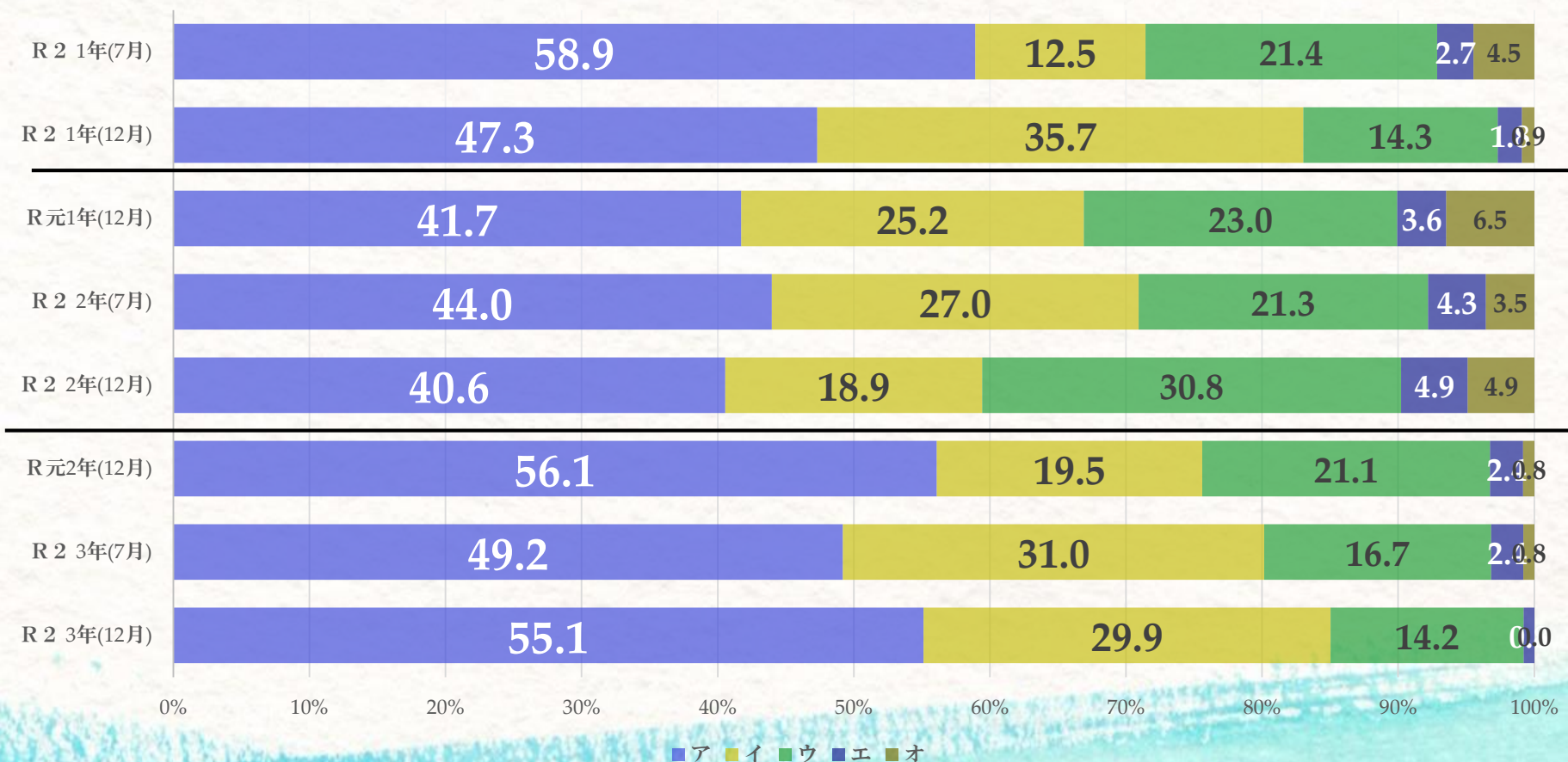
5. 研究の成果と課題

(児童アンケート結果より) 2019年12月, 2020年7月, 12月実施

(2) 先生や友達と英語で話をしたり, 聞いたりするのは楽しいですか。

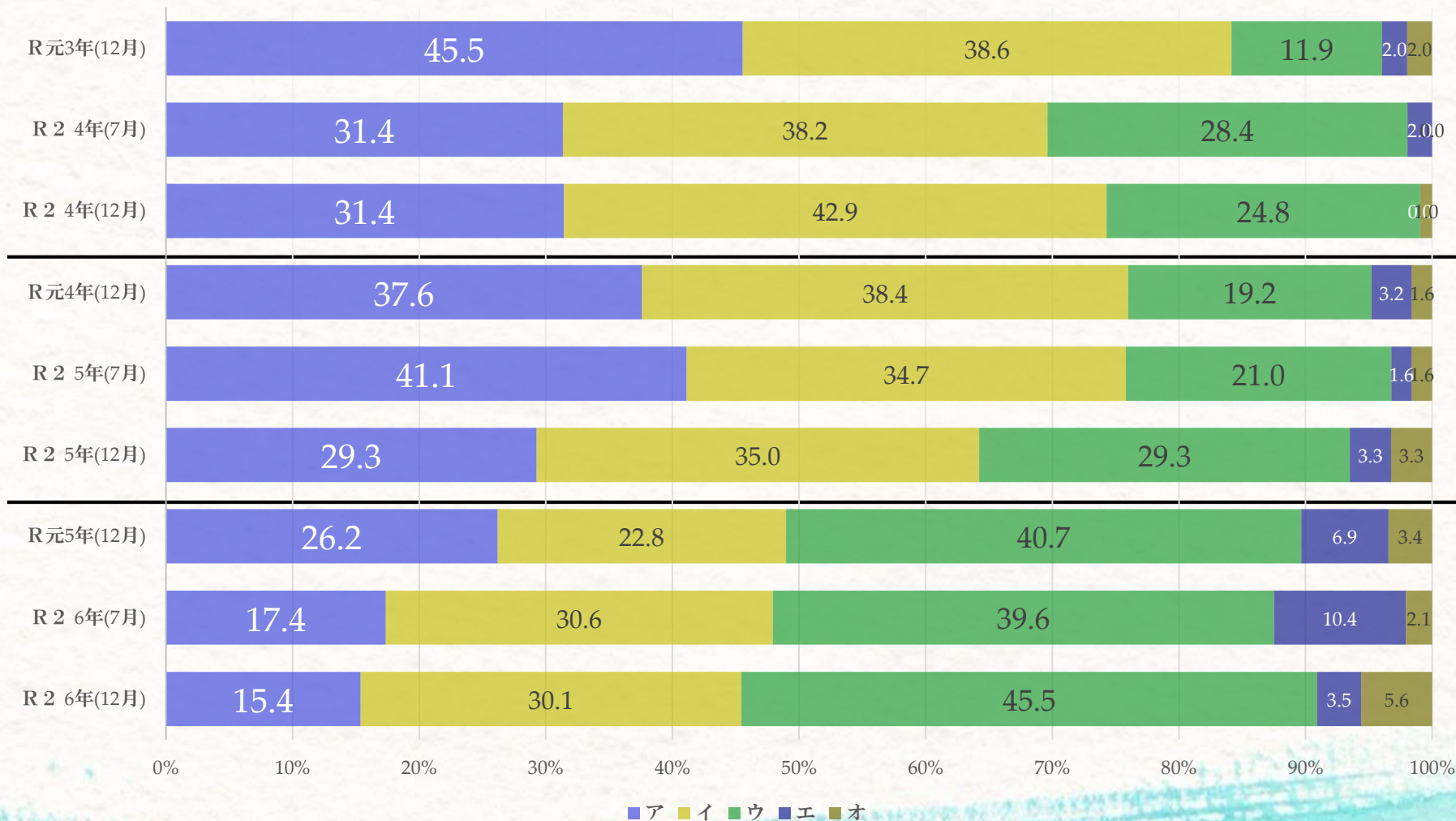
(1~3年生)

ア とても楽しい イ 楽しい ウ 普通
エ あまり楽しくない オ 楽しくない



(2) 先生や友達と英語で話をしたり，聞いたりするのは楽しいですか。
(4～6年生)

ア とても楽しい イ 楽しい ウ 普通
エ あまり楽しくない オ 楽しくない



【要因の考察】

1 豊かな言語活動ができなかった

- ・令和2年3月～5月の一斉休業により、2か月開始時期が遅れたため、学習内容を進めることに重きを置き、音声による言語活動に十分な時間をとることができなかった。
- ・学校が再開してからも1学期の間は、児童同士のやり取りは中止。
- ・2学期にやり取りを開始したが、教師の意識は「距離をとる」「時間制限」になり、やり取りを教師も児童も楽しめなかった。

2 学級集団に崩れが生じた

3 教科書の活用の仕方に課題があった

- ・「教科書を終わらせなくてはいけない」という思いから、「教科書で教える」ではなく、「教科書を教える」てしまった。
- ・「書くこと」にシフトしすぎてしまった。
- ・「書くこと」に直結させるための音声による言語活動になってしまった。

4 移行期間からのレディネスが不十分だった

- ・大幅な時数の増加
- ・学習内容のギャップ

6. 今後の取組

(1) 豊かな言語活動の確実な実施

- ・十分な時間をとるための教科書の活用方法について見直しを図る。
- ・児童に「わかった」「できた」と自信を持たせるため、教員⇔児童のやり取りから、児童⇔児童のやり取りをより多くとることが必要。
- ・コロナ禍において可能なやり取りの方法について共有を図る。

(2) 学級経営を支える外国語活動・外国語の授業の工夫

- ・外国語活動・外国語の授業には、学級経営の影響が如実に表れる。温かく、安心できる学級づくりとそれを支え、育てるための活動を取り入れた授業を実施。
- ・児童理解を生かすことが大切である。そのため、学級担任の力を生かした授業づくりを行う。

6. 今後の取組

(3)教科書の活用方法の改善「教科書で教える」

- ・教科書を進めることよりも、教科書を使って身に付けさせたい力に意識を向け、やり取りを行う。
- ・「書くこと」の指導について、改善を図る。
- ・「書くこと」につなげるためのやり取りではなく、意味のあるやり取りを実施し、「書くこと」につなげる。

(4)特別支援教育の視点を取り入れた指導の さらなる充実

- ・より多くの児童、多くの場面で特別支援教育の視点からの指導方法、支援が円滑に進むように、さらにうまくいった指導方法、支援を言語化して記録、累積し、一般化していく。



Thank you for your attention.

